

第一章

日本語学習の必要性

— 关键词 “日语” —



为了在日本生活得更好

您好!

您在日本的新生活即将开始，您都做好了在日本生活的必要准备吗？

在您对新生活充满着期待的心里，一定也怀揣着许多的不安吧？怎样才能在日本的社会中舒适地生活？要能安全、安心地生活又必须注意些什么？进而如何使每天的生活更加愉快？……。为了消除您心中的这些不安，本手册为您提供大量信息，希望这些信息能对您有所帮助。

好，这里是日本。从入境的那一瞬间起，您的耳边就充斥着日语。您的日语程度如何？在您从今开始的日本生活中，日语是必不可少的。毫无疑问，当您能够流利地使用日语，能够与周围的人进行交流时，您在日本的生活就自然会变得轻松愉快起来。

现在正好有一个外国人交流会，聚集了生活在日本的外国人。我们不妨去问一问他们的日本生活以及学日语的必要性，如何？



Q：您好！我刚来日本不久，想跟您交谈交谈，行吗？

A：行！

Q：您的日语说得很好。

A：谢谢！但是我的日语还差得远呢。我在国际交流协会的日语教室学习日语，每周两次。

Q：您怎么会想到要去学日语呢？

A：因为我想我必须得看懂女儿学校发的通知。有一天，女儿说：“妈妈，老师说去学校参观上课的答复，截止日期是今天”。但是，我一点儿也不知道是怎么回事……。

Q：啊！这些事都写在了通知上。

A：是的。从那以后我立即决定去日语教室学习。

到现在虽然还有许多不懂的地方，但至少能够看懂孩子学校发的通知了。

怎么样？ 孩子们与日本社会共同成长，转眼之间就融入到社会中，结交到朋友，也很容易地掌握了日语。然而，妈妈因不大容易寻找到自己与社会的接触而往往跟不上社会发展的步伐。

开始时对那些难的词汇不懂没关系，只要将“早上好”、“你好”、“晚上好”等问候语用日语向周围的人打招呼，就可以缩短与他们之间的距离。

语言创造出您与社会接触的出发点。如果您的日语能达到听、说、读、写的程度，那么您的日本生活也会相应地轻松愉快起来。

好，我们再去找另一位谈谈，就找那一位吧。

Q：您好！您是学生吗？

A：是的。我在日语学校学习。

Q：是吗？ 有没有一些让您难忘的失败体验，能跟我们谈谈吗？

A：喔……有的。曾经发生过这样一件事。

我去打工面试时，店长说“把kyokasho拿来”，于是我就把kyokasho拿着又去了。

谁知他说：“为什么我叫你拿kyokasho来，你却把kyokasho拿来了？”

Q：怎么回事？



您知道是怎么回事吗？ 店长叫他拿的是打工的“许可证(kyokashoo) <许可证>”，而他却把“教科书(kyookasho) <教科书>”拿去了。实际上他也觉得奇怪，为什么打工面试还要带教科书呢？ 也许是想知道自己的日语程度如何，想看看所学的教科书吧。这样想着，于是就把教科书拿去了。幸亏店长是个通情达理的人，允许他再次把许可证拿去重新参加面试，后来被录用了。

我们还可以听到许多其他各种各样有趣的失败体验。但是，因错误领会某些重要词句的意思而被误会，甚至被牵连到某些重大案件中的实例确有发生。例如“危险<危险>”这样的汉字，不会写没关系，只要看到这两个汉字时明白它们的意思，不

再靠近那个地方就行了。在日常生活中，实际上有许多东西是只要稍微学一学就很快能知道的。

放松一下，与周围的人交谈交谈吧！您一定也可以听到各种各样的成功体验。

当您可以使用日语时，您自身的行动范围得以扩大，生活也会过得越来越顺。随着认识的人和朋友日益增加，他们一定会帮助您解决生活上遇到的各种问题。这种朋友间的交流跨越国界，将世界各国的人们紧紧连接起来。

此外，语言具有帮助您实现梦想的力量。有些人在日本的职业足球队中与日本职业选手共同活跃在绿茵场上，又有些人利用自己掌握的母语和日语，圆了自己小时候的翻译之梦。

在后续章节中，登载了许多学习日语的信息。为了您从今开始的日本生活过得更好，学习日语吧！

より良い日本での生活のために

みなさん、こんにちは。

さあ、いよいよみなさんの日本での新しい生活が始まります。日本で生活するために必要な準備は調っていますか。

みなさんの心の中には、きっと期待の中に不安が入り混じった状態なのではないかと思います。どうやったら日本の社会の中でうまく快適に過ごすことができるでしょう。安全、安心に暮らすためにはどんな注意をしたらいいでしょう。そして、毎日の生活を楽しむには…。このハンドブックには、今のみなさんのそんな不安を解消するための情報がたくさん盛り込まれています。

さて、ここは日本。入国したその瞬間から、みなさんのまわりには日本語があふれていることと思います。みなさんの日本語、いかがですか。これからみなさんが日本で生活していく上で、日本語は欠かせないものになっていくはずですが、日本語をうまく使うことができるようになり、まわりの人たちとコミュニケーションがとれるようになると、おのずと日本での生活が楽に楽しくなる、これは間違いありません。

今ちょうど、外国から来て日本で生活をしている人たちが集まって交流会をしているようですよ。ちょっと声をかけて、先輩たちの日本での生活や日本語の必要性について聞いてみたらどうでしょう。

Q：こんにちは。僕、日本に来たばかりなんですけど、ちょっとお話してもいいですか。

A：ええ、いいですよ。

Q：日本語、上手ですね。

A：ありがとうございます。でも、まだまだです。週に2回、国際交流協会の日本語教室で勉強しているんですけど。

Q：どうして日本語を勉強しようと思ったんですか。

A：娘の学校からきた通知をちゃんと読めるようにならなくてはと思ったからです。ある日、娘が「ママ、授業参観の返事、今日までだって先生に言われたんだけど」って言うんですよ。でも、私には何のことかさっぱり分からなくて…。

Q：ああ、通知にそれが書いてあったんですね。



A : ええ。そのことがあってすぐに日本語教室に入ることを決めました。今もまだ十分ではないんですが、子供の学校の通知を読むくらいは大丈夫です。

いかがでしたか。子供は日本社会とともに成長していくので、あつと言う間に社会に溶け込み、友達ができ、そして日本語もとても簡単にできるようになります。けれど、社会との接点を持ちにくいお母さんは、えてして社会から取り残されてしまうことになりがちです。

最初は、難しいことは分からなくてもいいのです。「おはようございます」、「こんにちは」、「こんばんは」というあいさつだけでも日本語でしたら、それだけで周囲の人との距離が縮まります。

ことばは社会との接点を作ります。日本語が読めたら、書けたら、聞いて話せたら、それだけ日本での生活が楽に、そして楽しくなると思いますよ。

では、もう一人、あそこの人にも声をかけてみませんか。

Q : こんにちは。学生さんですか。

A : はい、日本語学校に通っています。

Q : そうですか。何か思い出の失敗談、ありますか？

A : ええと、そうだ、こんなことがありました。ア

ルバイトの面接に行ったら、店長に「kyokasho 持ってきて」って言われたんです。だから僕は kyokasho を持ってまた行ったんです。そうしたら、「どうして kyokasho を持ってきてって言ったのに、kyokasho を持ってきたんだ」って言うんですよ。

Q : え？



さて、どういうことか分かりましたか。店長が持ってきてと言ったのはアルバイトの「許可証 (kyokashoo)」,なのに彼は「教科書 (kyookasho)」を持って行ってしまったのです。実は彼も、どうしてアルバイトの面接に教科書が必要なんだろうと不思議に思ったようなのですが、日本語力を知るために、勉強した教科書を見たいのかもしれないと思って持っていったそうです。幸い、店長が話の分かる人で、再度許可証を持って面接に行き採用されたと言っていました。

ほかにも、様々な楽しい失敗談を先輩たちから聞くことができます。けれど、深刻なことばの意味を取り違えて誤解されたり、さらには大きな事件に巻き込まれたということも実際にあります。例えば「危険」という漢字ですが、書けなくても大丈夫。でもこの漢字

があったとき、見て意味が分かって、そこに近づかないということができればいいのです。少し勉強して知ってさえいれば簡単に分かること、意外に多いですよ。

さあ、気軽に身の回りの人に話しかけてみましょう。みなさんの先輩たちからは様々な成功の話も聞くことができると思います。

日本語が使えるようになると、みなさん自身の行動範囲が広がり、生活がスムーズになっていきます。知り合いや友達が増えて、その人たちが生活上の様々な問題解決のお手伝いをしてくれるでしょう。その友達の輪が世界の人々を結びつけていくのです。

そして、ことばにはみなさんの夢をかなえる力もあります。ある人は、日本のプロサッカーチームで日本人プレイヤーとともに大活躍しています。また、ある人は母国語と日本語の両方を生かして、子供の頃からの夢だった通訳になりました。

この後に続く章には、日本語を勉強するための情報がたくさん書かれています。これから始まるみなさんのより良い日本での生活のために、日本語、勉強しましょうよ。

